

事業報告

令和4年度事業報告

【(公財)下松市水産振興基金協会】

令和4年度は、下松市から3年間の指定管理を受け最後の事業年度となりました。令和2年度から種苗生産、放流及び供給事業において欠損が生じた魚種もありましたが、3年間で計画尾数を放流することができました。

笠戸ひらめも県内外多くの方々に周知され下松市内で食べていただけるようになり、笠戸のどらふぐも漁業者さんと共に年間通しての出荷が実現できる兆しが見えてきました。

令和4年度の来館者については、令和3年度より1万人多い約3万6千人でした。令和5年度夏までには10万人達成する予定です。

1. 基本方針

当協会は、水産資源の維持拡大を図るために栽培漁業事業を推進し、地域漁業経営の恒久的安定及び海面利用と地域産業の調和ある発展に寄与し、地域社会の健全な発展を図ることを目的とし、以下の公益目的事業及び収益事業を適切に実施しました。

2. 公益目的事業と収益事業について

(1) 公益目的事業

当協会の定款にある「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」、「漁場環境保全及び漁業経営安定に関する種苗生産放流事業」で得た飼育技術を基に、「魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業」及び「栽培漁業推進に関する調査研究及び啓発に関する事業」を行うことで、山口県知事から認定された公益目的事業の“水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業”を実施しました。

また、公益目的事業の実施に必要とする「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。生産の効率化を図り、指定管理仕様書等に則って、下松市と協議をし、指示された事業を実施しました。

(2) 収益事業

定款にある「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」、「魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業」を行うことで、山口県知事から認定された収益事業の“水産資源の維持拡大に関する事業”を実施しました。

また、収益事業の実施に必要とする「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。

3. 個別の事業内容について

(1) 公益目的事業について

※水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業

本事業は、近海の漁獲量の増大や魚食普及を図るために、“種苗生産、放流及び配布事業”、“中間育成放流及び配布事業”を実施することで、地域あるいは、山口県の水産資源の維持拡大を図るものです。

また、“栽培漁業、魚食推進及び観光資源生産に関する広報啓発事業”を実施することで、水産資源の維持拡大に寄与するだけでなく、観光資源の安定的な生産と配布を行うことで、産業振興並びに観光振興が図れます。

事業の推進にあたって、当協会が長年実施してきた魚介類の栽培漁業事業と養殖事業で培ってきた技術や経験を活かして、水産資源の確保に寄与しながら、地域の観光振興にも貢献しました。

公益目的事業を実施するにあたり、以下の[1]から[4]の4つの事業に分類しました。

[1]種苗生産、放流及び配布事業

【事業概要と目的】

他では技術的に対応が困難な魚種の親魚の育成、採卵、孵化、育成の実施、新魚種の開発等の生産技術の向上を図るとともに、指定管理で指定された種苗の周南地区海域への放流、漁協や行政への配布を行い、水産資源拡大及び漁獲量の安定化を目指して栽培漁業を推進しました。

【内容】

指定管理で指定された種苗生産魚（魚種、数量）を生産するために、当協会が管理する下松市栽培漁業センターにおいて、魚類の採卵、孵化、中間育成並びに放流を一貫とした種苗生産事業を実施しました。

種苗生産技術の開発及び向上を図るとともに、共第 77 号共同漁業権海域(周南地区海域)を中心に放流し、下松市に要望があった漁協や行政への配布を実施しました。

【対象魚種】

マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ、アイナメ、ウマヅラハギ

【事業明細】

資料：9 ページ 別表 1

[2] 中間育成、放流及び配布事業

【事業概要と目的】

地元漁業者からの要望が高い指定管理で指定された種苗（魚種、数量）を中間育成、育成技術の研究、周南地区への放流、行政等への配布を行いました。共第 77 号共同漁業権海域(周南地区海域)の水産資源の拡大及び漁獲量を安定させ、漁業経営の安定化を図るために、関係機関から種苗を購入し、中間育成した稚魚を放流する栽培漁業を推進しました。

【内容】

関係機関から種苗を購入し中間育成を行い、周南地区へ放流するとともに、下松市に生産の要望があった地区への配布を実施しました。

【対象魚介類】

クルマエビ、ガザミ、ヒラメ、アワビ、トラフグ、カサゴ、アカガイ、ヨシエビ

【事業明細】

資料：10 ページ 別表 2

[3] 養殖技術の保持及び観光資源等に関する事業

【事業概要と目的】

養殖技術の保持、養殖技術の指導及び改善のための試験養殖を行い、水産資源及び観光資源の生産のために養殖魚生産及び配布を行いました。

【内容】

事業内容についてはヒラメ種苗、トラフグ種苗及びマサバ種苗を購入し、陸上水槽と海上筏(トラフグ、マサバ種苗については主に海上の田の字筏)で育成し、養殖技術の指導及び技術改善のための試験研究を行いました。ヒラメは一年を通して出荷し、トラフグは漁業者の出荷時期の端境期を補う時期に出荷しました。マサバは地元漁業者が漁獲した中の出荷対象にならない未利用魚を活用して、販売可能なサイズまで品質を改良しながら養殖試験を行い出荷しました。マアジについては引き続き育成方法の研究を行いました。

これらの出荷を行うことで、下松市の観光資源の生産が維持され市内観光施設等へ安定的に配布ができました。

【対象魚種】

- ① 指定管理で指定されたヒラメの養殖技術の指導及び改善のための試験研究等の事業

・下松市の代表的な水産資源でもあり、観光資源でもあるヒラメの試験研究のための養殖を行い、指定された配布先への配布を行いました。

- ② 指定管理で指定されたトラフグの養殖技術の指導及び改善のための試験研究等の事業

・下松市の代表的な水産資源、観光資源であるトラフグの試験研究のための養殖を行い、指定された配布先への配布を行いました。

- ③ 地元漁獲物の未利用魚の養殖技術の開発及び改善のための試験研究事業

・漁業者の所得の向上を目的として地元漁獲物の未利用魚の有効活用を試験研究し、漁業者へ新たな養殖魚として啓発する試験養殖をしました。成果品は指示された出荷先へ配布しました。

また、これらの事業で地元特産品の観光資源の生産を行うことで、それを用いて広報啓発活動を実施し、観光振興に貢献するとともに、笠戸島観光客及び下松市観光客の施設見学の受け入れを積極的に行い、一般市民の方々の栽培漁業への理解の向上と魚食普及の推進を図りました。

【対象者】

養殖業者、他の水産研究機関、市内観光施設、一般(市主催等イベント用の提供)

【実施方法】

- ヒラメ : 種苗を購入し、陸上水槽及び海上(田の字筏)で育成しました。
- トラフグ : 種苗を購入し、成育状況と歩留まりの向上及び魚病対策に関する技術研究を行いました。
- マサバ : 地元の漁業者から、出荷対象にならない未利用魚を購入し、成育状況と歩留まりの向上及び魚病対策に関する技術研究を行いました。
- マアジ : 地元の漁業者から集めた天然種苗を購入し、育成方法の研究を行いました。

【事業明細】

- ヒラメ : 11 ページ 別表 3-①
- トラフグ : 11 ページ 別表 3-②
- マサバ : 11 ページ 別表 3-③
- マアジ : 11 ページ 別表 3-④

[4] 栽培漁業広報啓発事業

【事業概要と目的】

水産教室(出前講座)、魚(笠戸ひらめ)のさばき方教室、職場体験の受入、餌やり体験、放流体験、施設の見学者の受入、地元のイベントへの参加などを行い、多くの方々に栽培漁業に関する広報啓発することで、水産業への理解や関心をより深めていただき、水産業の発展に貢献しました。

【内容 1】

栽培漁業についての水産教室(出前講座)の実施や魚(笠戸ひらめ)のさばき方の体験教室を開催し、啓発活動する事業を行いました。

【対象者】

小中学生及び団体の来館者、出前講座の依頼があった学校及び団体等

【費用、参加費】

出前講座……無料(但し、謝礼金が発生する場合もある。)

“笠戸ひらめ”のさばき方体験教室 実費

【内容 2】

水産業に対する理解を深めるために、下松市栽培漁業センターで飼育するヒラメ等の餌やり体験と放流体験を実施しました。

【対象者】

児童生徒を含む一般市民

【参加費】

無料

【事業明細】

資料： 12・13・14 ページ 別表 4

(2) 収益事業について

※水産資源の維持拡大に関する事業

本事業は、生産物の有効利用のために公益認定範疇以外に供給する事業と「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。

収益事業を実施するにあたり、以下の[1]から[5]の5つの事業に分類しました。

[1] 種苗生産、放流及び供給事業

【事業概要と目的】

指定管理で指定された公益目的事業の安定的な生産に向けた数量の確保から生じた生産努力分を、水産資源の有効利用及び経営の安定化のために収益事業として出荷をしました。

【内容】

指定管理で指定された種苗生産魚の数量以外の種苗を供給しました。

【対象魚種】

マコガレイ、キジハタ、アイナメ・ウマヅラハギ

【対象者】

県外行政機関、県外漁協及びその他の県外事業者

【事業明細】

資料： 15 ページ 別表 5-①

[2] 中間育成、放流及び供給事業

【事業概要と目的】

指定管理で指定された公益目的事業の安定的な生産に向けた数量の確保から生じた生産努力分を、水産資源の有効利用及び経営の安定化のために収益事業として出荷をしました。

【内容】

指定管理で指定された中間育成種苗の数量以外の種苗を供給しました。

【対象魚種】

アカガイ、トラフグ

【対象者】

県外行政機関、県外漁協及びその他の県外事業者

【事業明細】

資料： 15 ページ 別表 5-②

[3] 観光及び水産資源の有効利用に関する事業

【事業概要と目的】

指定管理で指定された養殖魚の数量以外の水産資源の有効利用及び経営の安定化のために、下松市内飲食店及び周南市水産物市場などへ供給しました。

【内容】

ヒラメ、トラフグ、マサバ養殖生産物を有効利用のために下松市内飲食店、周南市水産物市場等に供給しました。

【事業明細】

ヒラメ : 16 ページ 別表 6-①

トラフグ : 16 ページ 別表 6-②

マサバ : 16 ページ 別表 6-③

マアジ : 16 ページ 別表 6-④

[4] 栽培漁業広報啓発施設貸与に関する事業

【事業概要と目的】

栽培漁業広報啓発施設の効率的な管理運営を図るために、当協会が公益目的事業での施設の使用時以外の栽培漁業広報啓発施設の利活用

を目的とします。

【内容】

指定管理で指定された施設の貸出業務を行いました。

【対象者】

地域の団体及び個人等

【事業詳細】

施設の使用申請書を作成し、申し込みを受け付けて施設の運用を行いました。指定管理者仕様書に従って利用料金を徴収し、また、施設貸与に関する免責条項については、下松市のそれに準拠し貸与しました。

*令和4年度利用者は8件51名でした。

[5] 物品販売等に関する事業

【事業概要と目的】

施設の利用者に対して、再訪問を動機づけることで栽培漁業広報啓発事業の推進と水産業への理解と関心を高めることを目的とします。

【内容】

栽培漁業広報啓発のためのPRグッズ等の物品販売を行いました。また、施設の利用者の利便性を図るために飲料サービス等を業者に委託しその手数料を徴収しました。

【対象者】

施設利用者

【事業詳細】

栽培漁業を含む水産業への理解と関心を高めるために、施設来訪者の利便性を向上させることで、再来訪の切っ掛けになるような物品を作成し販売しました。

- ・PRグッズ等の作成及び販売等
- ・笠戸ひらめ等の販売及び加工品等の商品開発等
(笠戸ひらめの一夜干し)

また、飲料等サービスを業者に委託し、手数料を徴収しました。

* 笠戸ひらめペア	89個
笠戸ひらめのコンフィ	196個
ヒラメの餌 (ガチャガチャ)	9,851個 等

I 公益目的事業

(a) 種苗生産、放流及び配布事業

魚種	出荷先	採卵数(粒)	計画	放流尾数
マコガレイ	下松市	4,138,000	453,000	515,258
	周南市		14,000	15,338
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		5,000	5,478
	(一財)徳山地区漁業振興基金		20,000	21,911
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		8,000	8,764
	山口市・吉山地区漁場利用整備協議会		1,700	1,700
	〃 (追加)			300
	岩国市 岩国市漁業協同組合		16,500	16,500
	〃 通津漁業協同組合		1,000	1,000
	〃 神代漁業協同組合		3,400	3,400
	山口県漁業協同組合 吉佐支店山口支所		4,000	4,000
	山口県漁業協同組合 大海支店		4,000	4,000
	下関外海漁業共励会		5,000	5,000
	武田薬品工業			150
計	4,138,000	535,600	602,799	
令和4年度末尾数			920,000	
オニオコゼ	下松市	2,112,000	163,250	172,682
	〃 (過年度不足分)		63,493	63,493
	周南市		12,000	12,033
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		4,750	4,764
	(一財)徳山地区漁業振興基金		10,000	10,027
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		10,000	10,027
	下関外海漁業共励会		30,000	30,000
	〃 (追加)			5,000
	周防大島町 久賀漁業協同組合		2,000	2,000
	山口県漁業協同組合 日良居支店		3,000	3,000
	〃 浮島支店		3,200	3,200
	岩国市 岩国市漁業協同組合		7,800	7,800
	〃 通津漁業協同組合		500	500
	〃 由宇漁業協同組合		3,500	3,500
	〃 柱島漁業協同組合		1,700	1,700
	岩国市漁業協同組合		8,000	8,000
	柱島漁業集落		5,000	5,000
大島漁業集落		2,000		
計	2,112,000	328,193	344,726	
キジハタ	下松市	8,500,000	154,000	182,066
	〃 (過年度不足分)		65,528	65,528
	周南市		14,000	14,033
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		5,000	5,012
	(一財)徳山地区漁業振興基金		12,000	12,028
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		15,000	15,035
	(公財)日本釣振興会(光・下関)		6,000	6,000
	岩国市 岩国市漁業協同組合		8,200	8,200
	〃 通津漁業協同組合		500	500
	〃 由宇漁業協同組合		1,000	1,000
	〃 神代漁業協同組合		1,800	1,800
	〃 柱島漁業協同組合		940	940
	柱島漁業集落		3,500	3,500
	下関外海漁業共励会		5,000	5,000
岩国市漁業協同組合		6,400		
山口県釣団体協議会(ポテトマラソン)		2,110		
計		292,468	329,152	
アイナメ	下松市	700,000	13,000	57,107
	周南市		5,000	5,156
	〃 (追加)			3,856
	(一財)徳山地区漁業振興基金		7,000	7,220
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		5,000	5,156
	岩国市 岩国市漁業協同組合		4,000	4,000
	柱島漁業集落		2,000	2,000
	〃 (追加)			1,000
	〃 (追加)			6,820
	光・熊毛地区栽培漁業協会		16,500	16,500
宇部工業		1,828		
計	700,000	52,500	110,643	
ウマヅラハギ	下松市	1,000,000	25,000	33,101
	周南市		5,000	5,552
	計		1,000,000	30,000

(b) 中間育成、放流及び配布事業

魚種	出荷先	購入尾数	計画	放流尾数
クルマエビ	下松市	300,000	72,000	121,795
	周南市		27,000	44,017
	計	300,000	99,000	165,812
ガザミ	下松市	530,000	140,000	152,031
	周南市		128,900	128,900
	(一財)徳山地区漁業振興基金		90,000	90,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		10,000	10,000
	計		530,000	368,900
ヒラメ	下松市	130,000	20,000	20,082
	下松市(パイロット事業)		24,000	24,098
	周南市(パイロット事業)		48,000	48,849
	下関外海漁業共励会		15,000	15,000
	山口県釣り団体協議会			4,098
	武田薬品工業株式会社			300
	計		130,000	107,000
アワビ	下松市	72,000	20,000	20,000
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)		7,000	7,000
	(一財)徳山地区漁業振興基金		18,000	18,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		5,000	5,000
	山口県漁業協同組合 周南統括支店		1,800	1,800
	〃 (追加)			200
	計		72,000	51,800
トラフグ	下松市	68,000	10,000	11,000
	周南市		18,000	25,602
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		8,000	11,378
	(一財)徳山地区漁業振興基金		15,000	21,335
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)(大型)		2,000	2,014
	計		70,000	53,000
カサゴ	下松市	60,000	20,600	27,174
	周南市		5,000	5,855
	(一財)徳山地区漁業振興基金		11,000	12,882
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		8,000	9,369
	計		60,000	44,600
アカガイ・1 (R3年度導入群)	下松市	/	69,200	92,155
	周南市		30,000	37,151
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)		20,000	52,301
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		20,000	20,189
	計		139,200	201,796
アカガイ・2 (R4年度導入群)	岩国市 由宇漁業協同組合	353,000	10,000	10,000
	柱島漁業集落		5,000	5,000
	山口県漁業協同組合 浮島支店		63,800	63,800
	〃 (追加)			10,000
	由宇漁業協同組合			5,000
	計		353,000	78,800
	令和4年度末尾数			150,000
ヨシエビ	(一財)新南陽地区漁業振興基金	400,000	400,000	400,000
	計	400,000	400,000	400,000

別表3

(c) 養殖技術の保持及び観光資源等に関する事業

別表3-①

魚種	生産尾数	摘要	
ヒラメ	a	9,627	令和3年度末尾数
	b	15,066	3,348 令和4年4月入荷
			3,906 令和4年10月入荷
			7,812 令和4年11月入荷
	c	10,613	出荷
d	3,720	斃死	
計	a+b-c-d	10,360	令和4年度末尾数

別表3-②

魚種	生産尾数	摘要	
トラフグ	a	655	令和3年度末尾数
	b	513	令和4年6月入荷
	c	655	出荷
	d	116	斃死
計	a+b-c-d	397	令和4年度末尾数(2・3年魚)

別表3-③

魚種	生産尾数	摘要	
マサバ	a	170	令和3年度末尾数
	b	510	令和4年9月～12月入荷
	c	138	出荷
	d	2	斃死
計	a+b-c-d	540	令和4年度末尾数

別表3-④

魚種	生産尾数	摘要	
マアジ	a	250	令和3年度末尾数
	b	500	令和4年9～12月入荷
	c	0	出荷
	d	250	斃死
計	a+b-c-d	500	令和4年度末尾数

(d) 栽培漁業広報啓発事業

開催日	事業・行事名	内 容
6月上旬	笠戸島・海の幸体験交流会	下松市内の小学児童対象に、水産資源の漁獲体験。新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。
6月1日(水) 7月1日(金) 7月13日(水)	海浜清掃・稚魚放流	武田薬品、日本釣振興会、秋穂保育園主催により、海浜清掃後、稚魚の放流をした。(126名)
7月8日(金)	海浜清掃・稚魚放流	周南市水産課主催で、周南市給島海岸において、海浜清掃後、トラフグ稚魚を放流した。(鼓南小 9名)
7月9日(土)	水産多面的機能発揮対策事業	山口県釣り団体協議会主催による、海浜清掃及び放流事業へ参加し、周南市刈尾において放流イベントを行った。(ボーイスカウト40名)
7月中旬	栽培漁業放流体験イベント (コースタルリゾート・海開き)	下松市内の園児対象の放流体験事業。また放流事業の重要性の説明。新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。
8月6日(土)	くだまつ親子お魚体験ツアー	下松市主催で、市内在住の親子参加のもと、定置網漁業で魚をとり、当センターでさばき方の実習を行った。(親子14名)
8月8日(月)	総合的な学習の調べ	下松中学校一年生が、当センターに来訪し、栽培漁業について学習した。(下松中1年生、11名)
8月20日(土)	海浜清掃・稚魚放流	山口県釣り団体協議会主催で、下松市洲鼻海岸において、海浜清掃後、ヒラメ稚魚を放流した。(愛隣・平田保育園幼稚園児 40名)
8月23日(火)	産業観光ツアー(親子)	周南地域の商工会議所主催で、一般市民の方々に地域に密着した地場の企業が多くある周南地域の施設見学と地域観光見学を組み合わせたツアー。施設説明と餌やり体験を行った。(親子18名)
8月24日(水) 8月25日(木)	くだまつキャリアアップセミナー	下松市教職員社会体験の一環として、栽培漁業及び養殖作業に従事してもらった。(3名)
6月9日(木) 10月28日(金) 3月11日(土)	バス遠足	地元幼稚園の遠足の一環として、当センターで栽培漁業の話をした。(3園、144名)

9月9日(金) 10月5日(水) 11月2日(水) 11月8日(火)	徳山下松港100周年記念事業	徳山下松港開港100周年を記念し実施された。当センターに立ち寄り、栽培漁業についての啓発活動を実施した。(小学校4校、143名)
10月21日(金)	地裁協イベント	周南地域栽培漁業推進協議会のイベントで、はなぐり海水浴場において、幼稚園児によるかご網漁体験、タッチングプールで魚のふれあい体験を行った。(江口幼稚園児140名)
10月27日(木)	職業講話	公集小学校に出向き、水産業についての職業講話を行った。(144名)
11月4日(金)	「下松産の魚を調理してみよう」	下松市魚食普及推進協議会主催、地元の水産物を使い高校生に興味関心をもってもらい、食の大切さを知ってもらうために地元の漁業関係者と高校生に魚のさばきかたの実習を行った。(華陵高校、10名)
11月7日(月)	食生活改善推進養成講座	下松市主催、健康づくりと食育推進事業の一環として実施される食生活改善推進養成講座に講師として参加し、地元の魚のさばき方の講習を行った。(21名)
11月19日(土)	産業見学ツアーin笠戸島	下松市在住の小中学生保護者対象に、笠戸島内の事業所の見学を行った。当センターでは、業務内容の説明および餌やり体験を実施した。(親子74名)
12月4日(日)	ポテトマラソン	山口県釣り団体協議会主催、周南市大津島で開催されたマラソンのイベントとして、地元の小学生がキジハタ種苗を棧橋より放流した。(60名)
12月4日(日)	まるごと笠戸島まつり	まるごと笠戸島まつり実行委員会主催、下松市栽培漁業センターにて開催。クルマエビつかみ取り大会を実施した。(750名)
12月12日(月)	施設見学・講話	水産大学校生徒が来訪し、栽培漁業の現場を視察後、生産等の説明をした。(水産大学校生37名)
1月20日(金)	まるごと！下松給食の日	笠戸ひらめを下松市内の小中学生に地産地消の一環とし学校給食に提供した。笠戸ひらめの飼育等について、小学校に出向き説明を行った。(久保小3年、37名)
2月17日(金)	講話	末武中学校に出向き、笠戸ひらめの養殖について講話を行った。(みさと学級6名)
3月下旬	元気ふれあいまつりin深浦	会場内にタッチングプールを設置、笠戸島近海で漁獲される魚介類を展示紹介する予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。
3月下旬	宝の島っ子卒業イベント	笠戸島在住の小中学生卒業に際し、卒業生を対象に、将来笠戸島の魅力を思い出として記憶に残してもらうことを目的として毎年行っていたが、主催者の意向により終了となった。

年間	校外学習（出前講座）	県内の小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明を各校に直接出張し啓蒙する事業。（4校93名）
年間	社会科校外学習 （施設見学・餌やり体験）	来所の幼児・小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明、施設見学及び餌やり体験を行う事業。（16校 997名）
年間	職場体験	中・高校生を対象に職場体験を受け入れる事業。（1校4名）また、職場体験ができない学校に出向き、職業講話を行った。（4校13名）
年間	ひよこクッキング教室	下松市健康増進課主催の親子園児による魚食推進を目的とした料理教室。親子のひらめさばき方教室を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった。
年間	笠戸島観光客の施設見学	笠戸島観光客を対象に、随時施設見学を受け入れる事業であり、多くの県内外の方に来所して頂き栽培漁業について理解をいただいた。（上記を含めて36,131名）

別表5

II 収益事業

(a) 種苗生産、放流及び供給事業

別表5-①

魚種	出荷先	採卵数	計画	出荷尾数
マコガレイ	徳島県漁業協同組合連合会		13,000	13,000
	(公財)日本釣振興会 兵庫県支部		14,100	20,100
	(公財)日本釣振興会 中国支部		4,000	4,000
	愛媛県管理資源・漁場改善協議会		10,000	10,000
	(公財)三重県水産振興事業団		5,000	5,000
	〃 (追加)			10,454
	(有)瀬戸活魚センター	946,000	38,000	41,500
	熊本県水産研究センター		13,000	12,000
	太平洋貿易(株)		15,600	19,600
	〃 (追加)			4,200
	広島県 江田島漁業協同組合		3,000	3,000
	愛媛県 西条市		7,050	7,050
	神戸市漁業協同組合			36,000
	計	946,000	122,750	185,904
令和4年度末尾数			210,450	
キジハタ	(公財)日本釣振興会(広島・岡山・島根)		9,000	9,000
	(有)瀬戸活魚センター	1,003,000		13,000
	岡山県 倉敷市			4,000
	神戸市漁業協同組合			42,000
	計	1,003,000	9,000	68,000
アイナメ	神戸市立栽培漁業センター(令和3年度産)	50,000	10,000	10,000
	計	50,000	10,000	10,000
ウマヅラハギ	高知県水産試験場			220
	計			220

(b) 中間育成、放流及び供給事業

別表5-②

魚種	出荷先	購入尾数	計画	出荷尾数
アカガイ・1 (R3年度導入群)	福岡市漁業協同組合 姪浜支所		30,000	30,000
	(公財)大阪府漁業振興基金		50,000	50,000
	計		80,000	80,000
アカガイ・2 (R4年度導入群)	福井県 若狭高浜漁業協同組合		30,000	28,610
	〃 大島漁業協同組合		10,000	8,970
	兵庫県 善漁水産	347,000	30,000	40,000
	計	347,000	70,000	77,580
	令和4年度末尾数			150,000
トラフグ	(株)巧健			70
	計			70

別表6

(c) 観光及び水産資源の有効利用に関する事業

別表6-①

魚種	生産尾数	摘要		
ヒラメ	a	7,625	令和3年度末尾数	
	b	11,934	2,652	令和4年4月入荷
			3,094	令和4年10月入荷
			6,188	令和4年11月入荷
	c	6,797	出荷	
d	6,572	斃死		
計	a+b-c-d	6,190	令和4年度末尾数 (R5年度公益目的事業(c)別表3へ)	

別表6-②

魚種	生産尾数	摘要	
トラフグ	a	1,259	令和3年度末尾数
	b	987	令和4年6月入荷
	c	118	出荷
	d	912	斃死
計	a+b-c-d	1,216	令和4年度末尾数(2・3年魚) (R5年度公益目的事業(c)別表3へ)

別表6-③

魚種	生産尾数	摘要	
マサバ	a	225	令和3年度末尾数
	b	490	令和4年9月～12月入荷
	c	144	出荷
	d	29	斃死
計	a+b-c-d	542	令和4年度末尾数 (R5年度公益目的事業(c)別表3へ)

別表6-④

魚種	生産尾数	摘要	
マアジ	a	250	令和3年度末尾数
	b	500	令和4年9～12月入荷
	c	17	出荷
	d	233	斃死
計	a+b-c-d	500	令和4年度末尾数 (R5年度公益目的事業(c)別表3へ)

Ⅲ 附属明細書について

令和 4 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。